

第2回 持続可能な街路樹の管理に関する検討委員会 議事概要

■検討委員会概要

日時：令和5年8月21日（月） 13：30～15：00

場所：東京国道事務所 会議室

【委員】（敬称略）

久保田 尚（埼玉大学教授）

濱野 周泰（東京農業大学客員教授）

飯田 晶子（東京大学特任講師）

松浦 正浩（明治大学専任教授）

松本 浩（国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター
緑化生態研究室長）

石井 宏明（国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 所長）

■議事概要

(1) 持続可能な街路樹の管理に関する合意形成

1) 検討ステップについて

- ステップ1の意識調査を踏まえてステップ2で持続可能な街路樹管理のありかたの基本的な考え方（案）を検討し、この後に意見募集の機会を設け、それを踏まえて（案）を更新し、社会的合意形成を図っていくという手順を踏むべきである。

2) 意識調査方法について

- 事前調査において一般登録モニターを活用する場合は、対象とする国道20号ケヤキ並木を知っている世田谷区民や杉並区民、通勤・通学等で対象区間や最寄り駅を利用する人の意見を把握することも検討すべき。
- 事前調査や本意識調査に用いるリーフレットには、ケヤキのことだけではなく、道路としての機能面について問題が生じていることも示すべき。
- ケヤキ並木区間を利用する方々に向け、現地でWebアンケートサイトにアクセスし、回答してもらう方法も検討してほしい。
- ステップ1の意識調査では自由な意見も記載できるよう検討すべき。

3) その他意見

- ケヤキを撤去することとなった場合には、環境面に配慮し、廃棄物として処分するだけでなく、リサイクル活用する方策も検討してほしい。

4) 今後のスケジュールについて

- 街路樹管理のありかたの基本的な考え方（案）に対して、意見募集の機会を設け、全体スケジュールを見直す必要がある。

(2) 今後の予定について

- 次回の委員会にて意識調査結果報告を行う。また、街路樹管理のありかたの基本的な考え方（案）及び考え方（案）に対する意見募集の方法を提案する。

以 上